

【ご挨拶】

糖尿病・甲状腺疾患・高血圧症などに関する知識とお知らせを新聞にして皆様に配布しています。皆様の病状が好転いたしますことを、心より願っております。

院長 則武 昌之

今月の特集

最近の糖尿病治療の話題について

□ 吸入型インスリンおよびランタスの日本での使用について

欧米では今年医薬品として承認されドイツですでに使用されていますが、超速効型のインスリンの注射とほぼ同等の効果があることが確認されています。新しい医薬品が承認される前に「治験」という臨床試験が行われますが、吸入インスリンの治験は日本では始まったばかりなので日本での発売はまだかなりかかる模様です。また吸入インスリンの効果は短いため効果の長いインスリン製剤（ランタス、N、30R など）の代わりは現在の吸入インスリンではできません。ランタスは長時間安定してほぼ一定のインスリンを保つことの出来るとても良いインスリンなのですが、インスリンの注入器に問題があることを指摘され日本では今までに使っている人にだけ使用して良いという状態が続いています。一刻も早く新しいランタスの注入器が完成して新規に使用できるようになることを願っています。

□ GLP-1（グルカゴン様ペプチド-1）について

GLP1 は血糖とは別の機序ですい臓からインスリンを出させる作用があります。最近 GLP1 類似薬剤や GLP1 を増やす薬剤が開発され、日本でもさかんに治験が行われるようになって来ました。当院でも9月からこの薬の治験を開始します。

□ 膵島移植について

すい臓そのものではなく特殊な処置をして取り出したすい臓をばらばらにしてインスリンを出す細胞（ランゲルハンス島：膵島）だけを移植する方法です。このようにすると移植を受ける方は点滴注射を受けるだけですむので世界でさかんに研究されています。2000年にカナダでの成功例が報告され、日本でも2004年以降京都大学で8名の膵島移植が行われています。結果は比較的良好ですが、まだ一般的に用いられる領域までは行っていません。対象は全くインスリンが出なくなってしまった1型糖尿病の方に限られています。

当院での療養相談・療養指導の料金について

看護師が実施している糖尿病などに関する療養相談や指導には料金はかかりません。30分以上かかるような特殊な場合（インスリン導入時など）には料金が発生することもあります。それ以外の時には無料です。皆様の健康や療養の相談窓口としてお気軽にご利用ください。

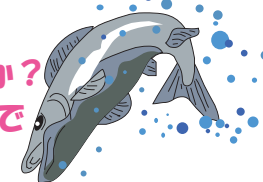
今年の夏はいかがでしたか？ 私も3日間にわたって海水浴に行きました。子供の元気さについていけず年を思い知りました。おまけに日焼けのあとはしみになるし・・・昔はこんなことはなかったのに・・・9月は連続8日間も休むことになり申し訳ありません。用事で北海道に出張します。

糖尿病などがあっても入れる保険（2）

「糖尿病や高血圧で保険に入れなかった」という経験をしたことがありますか？

- 以前にこの欄で大同生命の「糖尿病・高血圧用定期保険」を紹介したところ、いろいろな情報を寄せてくださる方があり、糖尿病などの慢性疾患を持っておられても他にも加入できる保険があることがわかりました。
- 明治安田生命保険相互会社でも糖尿病と高血圧をお持ちの方向けの「PL'EASE」という保険があります。ただし治療によって血糖値が良好な状態となっている方が対象で、過去1年以内に入院をされていないことなどいくつかの条件があるようです。（詳しくは問い合わせてください）「PL'EASE」では入院したときなどに適用される入院保障を追加することもできるようです。
- また入院や手術などのときにおもに役立てる引受基準緩和型「医療保険」がアリコジャパンから出ています。

これらの保険を上手に使ってはいかがでしょうか？
それぞれの詳しいお問い合わせ先はスタッフまで



健康に関するニュース

平均寿命が6年ぶりにマイナスに！

日本人の平均寿命は男性が78.5歳、女性が85.5歳で男女とも前年比で6年ぶりにやや短くなりました。国際比較では女性は世界のトップを維持しましたが、男性は2位から4位に下がりました。厚生労働省はインフルエンザと言う特殊要因によるもので日本人の平均寿命が延びている傾向に変わりはないとしています。

海外旅行で感染症にご注意を！

海外の渡航先で鳥インフルエンザなどの感染症にかからないように動物との接触に注意しましょう。また蚊を介して感染するマラリア、デング熱、西ナイル熱などにも注意が必要です。厚生労働省は長袖、長ズボンの着用や虫除け剤の利用を勧めています。

休診のお知らせ

学会参加のため9月19日から22日の間休診とさせていただきます。ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。